

- ◆ 東北財務局においては、幹部が管内地方公共団体を訪問し、首長等幹部と意見交換を行い、地域の意見・要望や地域経済の実態を把握。
- ◆ 宮城県仙南地域の地方公共団体との間において、当局が進める地域貢献に向けた地域主体の一つである地方公共団体との連携強化と、地方公共団体の地域活性化を目指す方向性が一致したことから、地域活性化に関する包括連携協定を締結。
- ◆ 当局は、今回の包括連携協定を足掛かりとして、仙南地域での地方創生にかかる取組を積極的にサポート。
※仙南地域2市7町…白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町

1. 成果事例の概要等

- 宮城県内5市町と地域活性化に関する包括連携協定を締結(同県柴田町(平成28年10月7日)、七ヶ宿町(28年11月14日)、白石市(28年12月1日)、丸森町(28年12月27日)、川崎町(29年3月29日))。
- 同県仙南地域での地方創生にかかる取組をサポート。
当局と地域活性化に関する包括連携協定を締結した地方公共団体等との意見交換を踏まえ、地方創生のサポートを実施。
- ・**地域経済活性化フォーラムの開催(平成28年12月1日:白石市)。**
テーマ:地域活性化の核として期待される地場産品のブランド化、移住・定住の促進
参加者:宮城県、金融機関(銀行、信金、公庫)、農政局、経済産業局、農業生産法人、広告会社



柴田町・東北財務局
連携協定締結式

・共通の課題解決のための広域フォーラムの開催。

◎ 仙南地域金融フォーラム(28年11月～ 継続的に3回開催)

- ・開催目的:地方創生に関する金融面での課題解決を通じて、地方公共団体が円滑に地方総合戦略を実行するための一助となるよう開催。
- ・構成機関:宮城県仙南地域2市7町、地域金融機関、東北財務局

◎ 阿武隈急行沿線地域活性化フォーラム(28年12月～ ワーキンググループを4回開催)

- ・開催目的:阿武隈急行沿線地域が抱える課題解決を通じて、地域の活性化に資することを目的に開催。
- ・構成機関:阿武隈急行沿線地方公共団体、阿武隈急行(株)、地域金融機関、福島大学、東北運輸局、東北財務局

・地方創生セミナーの開催。

- 講師:内閣府まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官補佐
- 参加者:宮城県内地方公共団体職員及び国の職員

・長期総合計画策定検討部会への参加。

- 当局若手職員が、地方公共団体の職員とともに、まちづくりについて議論。

・総合戦略検証委員会への参画。



地方創生セミナー

長期総合計画
策定検討部会

2. これまでの取組の成果等

- 「仙南地域金融フォーラム」を契機として、白石市と仙南信用金庫が地方創生に関する包括連携協定を締結(29年2月6日)。
- 「仙南地域金融フォーラム」においてテーマとなった、空き家情報の共有について、地元金融機関と地方公共団体が、情報共有する仕組み作りが進められている。
- 「地域経済活性化フォーラム(白石市)」を契機として、宮城白石産ササニシキ生産者が、地元信用金庫の紹介により、首都圏信用金庫等が主催する商談会への参加を目指す。今後の販路拡大について、積極的なサポートを実施。



仙南地域金融フォーラム



地域経済活性化
フォーラム(白石市)

- 地域活性化に関する包括連携協定の締結を契機として、地域の課題解決のための取組を実施し、プラットフォームが深化。

3. 今後の課題と東北財務局の対応

《今後の課題》

- より多くの意見交換等を行い、仙南地域の地方公共団体の要望に応じたテーマ設定をし、地域の課題解決に取り組んでいく。

《東北財務局の今後の対応》

- 今後も、地域の意見・要望や地域経済の実態把握に努め、地域連携・地域貢献を更に進めていく。